

(1面から続く)
生活内の集団行動というこ
では良くないことだと思っ
ている。

いじめを
防ぐことは
できるのか

○司会 SNS、LINE
の使い方にも問題があるが、そ
れ以外にもいじめに発展して
しまいうることはたくさん
あるようだ。気持ちの問題だ
から「いじめ」を防ぐことは
難しいが、みんなが、いじめ
られていない人助けしたいと思
っていることが分かった。ど
うしたらよいか。

○上原 小学生の時に二人
で遊んでいた時、相手から暴
力とまでは言えない程度のこと
を一方的にされていたが、
周りの友達が「それは遊んで
いるのではなく、いじめだ
よ」と教えてくれた。「いじ
め」はその当事者がまだそう
感じていない状況でも周りが
見たら「いじめ」だと分か
ることもあると思うので、気
付いたらそれを教えてあげる
ことで防げるいじめはあると
思う。

○村松 上原さんの意見に
同感だ。自分の場合は、グル
ープから外された時に一人で
悩むのではなく、親や兄弟に
話したことで気持ちが悪にな
った。今は学校の中で相談し
やすい先生もいるので、少し
くらい嫌なことをされてもす
ぐに「いじめられている」と
ネガティブな考えにはならな
いでいられることが多い。話
しやすさは必ずどこかにい
ると思うので、自分から探す
ことも大事だ。

○小柏 本校のアンケート
で「いじめを見たら注意でき
るか?」には「はい」が40%、
「いいえ」が60%だった。「い

いえ」の理由は「注意したら
自分もいじめられるから」「先
生に告げ口したと思われるか
ら」。友達がいじめに遭って
いたら自分は誰かに相談する
と思うが、自分が注意するこ
とは難しいと思う。



上原 そり(ひえは)
そのさん
中央中学校3年生

○内山 上原さんが言うこ
おりだ。いじめられている人
は意見が言えず、どんどん言
う人に押されてしまう。言
いにくそうなのがいたら積極的
に話を聞かすなどし、少数意見
も尊重し合っていければいじ
めはなくなると思う。

いじめを防ぐ
各取組

○司会 みんなは生徒会役
員という立場を経験してい
る。「学校でこんな取組
みをしてよくなった」「自分た
ちはできなかったが、後輩には
こんな取組みをして『いじ
め』を防止してもらいたい」
と思うことはあるか。

○高橋 私たちのクラスが
行っている担任との交換ノ
ットはどうか。週に1回必ず出

すというルールでやってい
る。今は自分たちのクラスだ
けでやっているが、自分のク
ラスはいじめがないと言っ
ていいほど雰囲気は明るい。
担任とのつながりをつくる
ことはとても大切だと思うの
で、次期生徒会にも伝えてい
きたい。

○村松 生徒会本部役員と
体育委員とが連携して、昼休
みに全校生徒で遊ぶという会
を開いた。もともと2月に
1回程度開いていた「遊ぼう
デー」と言われるものだが、
初めて開催した時はみんなが
笑顔になり、とても楽しそう
だった。そういう機会をもつ
こともいじめを防ぐ一つでは
ないかと思う。

○内山 本校の生徒会以外
もやっている「挨拶運動」だ
が、本校では毎朝役員や委員
たちが並び、「スマイル」と書
いてあるポスター等の看板を
持って挨拶することを学期ご
とに1回、1週間くらいやっ
ている。いじめがなくなると
いう直接的な対策ではない
が、学校全体で挨拶をするこ
とが、雰囲気明るくなるという習
慣を身につけていければもっ
と明るい学校になり、いじめも減
ると思う。

○村松 生徒会ではSNS
に必要なルールを作っている
が、私が2年生の時に作られ
たもので、次の生徒会本
部には必要などころを話し合
って改正してほしい。

大門中のいじめ防止三原則
を聞いて、これは西中学校で

いじめ防止対策
推進基本方針案
を改定します

パブリックコメント実施中
~多くのご意見をお寄せください
平成25年のいじめ防止対策推進法の制定を受け、本市では平成26年
度にいじめ防止対策推進条例を制定するとともに、教育委員会は同基
本方針を策定しました。
法制定後も全国各地でいじめによる重大事故が発生していることか
ら、教育委員会ではいじめ問題への取組みの一層の強化を図るた
め、現在、基本方針の見直しを行っています。基本方針の改定案につ
いて、市民の皆様のご意見を広く募集します。
【募集期間】1月15日(月)まで
【応募方法】市のホームページにある
詳しくは指導室 ☎470・7778へ。

も作りたいと思った。
○中谷 東中学校にも五つ
の東中SNSルールがある。
いじめに関することはい
ないというルールに、いじ
め防止のために人が嫌がる言
動をやめたり、いじめに発展
するようないじめをしないとい
うルールを加えたかった。



中谷 優里(なかに)
ゆりさん
東中学校3年生

○古館 2週間ほど前に学
習発表会、挨拶をテーマに
した劇をやった。下里中学
校生として人との関係をよく
するには、相手の目を見て笑
顔で会話し、相手に聞こえる
声で挨拶を返すことが大事だ
と思ったからだ。本校は部活
動でも先輩が後輩に優しく教
えていて、笑顔が絶えない学
校だと思つた。これからもそ
ういう雰囲気の学校生活を続
けてほしい。

○上原 中央中学校では行
事が終わった後にアンケート
を取るが、端に「誰々さんへ」
というところで、感謝の言葉や
頑張っていた人にメッセージ
を書くメモ欄がある。今は行
事後にそれが廊下に張り出さ
れているが、例えば学期の後
に「クラスで頑張っていた人」

として掲示したらどうかと思
う。
○小柏 2年生の時に「二者
面談があり、先生と生徒の1
対1で話し合う場があった。
学校生活や部活のことを話し
したが、担任は私たちが緊張し
ないようにと、折り紙を折り
ながら話を聞いてくれた。最
後にはみんなで折った鶴で千
羽鶴を作った。

「いじめの話は先生に言う
のは勇気が要る」という意見
があったが、そういう話があ
るようになるには、リラッ
クスして先生に本音を打ち開
けられる空間をもっと増やし
た方がいい。

○司会 先生たちに伝えよ
う。二者面談するときは鶴を
折るようにと(みんな笑つ)。
○高橋 生徒と担任、大人
と子どもというか、相談でき
る関係をつくらなければならない
というところが大切なので、二者
面談はとも良い案だと思
う。先生はとも忙しいが、
生徒との時間をつくってもら
うことが大切だと思つた。

○中谷 「いじめは絶対に
してはいけない」と思っ
ている人はいるだろうか、実際
いじめはどのように始まるの
か、何がいじめなのかを分か
っていない人がたくさんいる
と思う。そういうことから教
えるためにプリントなどを作
って配布し、みんなの意識を
変えていってほしい。

○古館 運動会、学習発表
会、体育委員の企画などを通
して、もっと学校全体での交



古館 健太郎(ふるだ)
けんたろうさん
下里中学校2年生

流を深めていこうと思つた。
日ごろの学校生活の中で互
いに笑顔で挨拶をするなど、皆
さんの意見を参考にこれから
の生徒会役員会での新企画を
立てていきたい。

○村松 以前、担任から
「何か嫌なことあった?」と
声掛けをしてもらったこと
で、とても安心できた。
担任でも部活顧問の先生が
生徒の異変に気付いた時に声
掛けをしてくれることで、ど
れだけ生徒が安心するか。私
は体験しているので、ぜひや
ってほしい。

○内山 村松さんと同意見
だ。自分でいじめに遭ってい
ることを言うのはとても勇気
が要ることだから、周りの人
が気付いてあげることが大切
だと思う。クラスでも、自分
の意見をもっと言えるような
空気をくれたらと思う。

○小柏 改めて自分の考え
をまとめてみたが、実行して
いかなないと、きれいで終
わってしまうと思つた。「見
て見ぬふりをしない」「ほかの
人を認める」「自分を誇りに思
う」ことが大切だ。

○古館 お互いに認め合
い、信頼し合えばいじめは
少しづつ減るのではないかと
自分が嫌だと思つても優し
く接することが今の自分たち
にできることだと思つた。

○村松 大人になってか
ら、小・中学校時代のことは
「地元」や「故郷」だと懐か
しめるのだと思つた。そこでい
じめに遭ったりすると地元嫌
いになってしまう。みんなに
「地元」をずっと好きでいて
もらいたいの、「いじめ」をな
くしていきたい。今日はいじ
めの意味がこの会場が狭く(みん
な笑つ)、皆さんの顔がよく
見え、意見をよく聞き取るこ
とができてよかった。



〈司会〉花房 康之
(はなばな) やすゆき
中央中学校長

閉会后、司会の花房校長に
感想を伺いました。
「各校から立派な生徒が集
まった。会が進むにつれ発言
者の顔を見てうなづいたり、
メモをとったり、『○○さん
の意見と同じですが』など、
相手の意見を聞いてそれを受
け止めつつ、自分の考えを発
表できていた。
今日の内容を各校に持ち帰
り、全校で話し合おうと思っ
た」としてほしい。

○上原 いじめについては
今までは自分の中でしか考え
たことがなかった。今日はた
くさんの意見を聞き、いじめ
の状況はそれぞれ違うのだと
分かった。
二者面談や全校で遊ぶこと
等を通してよくなったなど、
手段はたくさんあることに気
付くことができたが、「こう
するべきだ」とは言いきれな
いと思つた。助ける方法は人
によって違つたけれど、周りの
人が気づいてあげるといっ
ことが一番大切だと感じた。



東久留米産農産物の多様性
を知り、郷土愛を育んでもら
うため、「くるめ産給食の日」
を設けていきます。小学校で
は、いつも食べている給食は
学校ごとの献立になっていま
すが、この日は全校で同じ給
食を食べます。また、小・中
学校とも、柳久保小麦をはじ
め、地場産野菜をふんだんに
使った献立としています。
今年度は、昨年の12月15日
に実施されました。献立は小
学校では柳久保小麦を使った
郷土食「煮いだんご」や地場
産野菜を使った「にんじんこ
飯」など、中学校では柳久保
小麦を使った「東くるめ団子」
や地場産野菜を使った「きん
ぴら大根」等でした(写真参
照)。

総合教育会議を開催しました

平成29年7月13日、市立中央図書館視聴
覚ホールにおいて、平成29年度第2回総合
教育会議が開催されました。会議の前に、
市立第三小学校で行われた避難訓練を参観
後、「これからの防災教育に向けて」と題
し、市長と教育委員が意見交換をしました。
教育委員からは「子どもたち一人ひと
りに配慮した訓練内容でとてもよかった」
「避難所となる学校は、日ごろから地域と
の連携が欠かせない」「各家庭で学校での訓
練の様子などを話題にしてもらうことが大
切だ」という意見や、保護者が帰宅困難と
なった場合の子どもの引き取りについてな
どの質問がありました。市長からは「さま
ざまな事態を想定して行政は対応してい
く必要がある、今後も教育現場と連携してい
く」との発言がありました。
続いて、第3回総合教育会議は11月10日

市長と教育委員は第二小
学
校を訪問し、児童と一緒に給
食を食べました。
詳しくは学務課保健給食係
☎470・7779へ。